

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 砂防指定地内河川 上布野川 通常砂防事業に伴う地質調査・設計業務委託（交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名	Br. No. 4	調査位置	広島県三次市布野町上布野 地内	北緯	34° 53' 16.6768"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	2023年 10月 17日 ~ 2023年 10月 25日	東経	132° 46' 57.2431"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	TP 277.18m	角	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	16.00m	地盤勾配	鉛直 90° 16°	使用機種	東邦地下工機 ID-C
				エンジン	ヤンマー NFD-9
				ポンプ	東邦地下工機 EG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記号	標準貫入試験						試験採取番号	室位置試験	削孔月日				
											深度-N値図												
											N	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量							
											値 (m)	度 (m)	0	100	200	300	(m)						
0.25	276.93	0.25	火山灰	火山灰	暗褐色					黒ボク。φ10~30mmの黒石岩片を微量混入。かなり軟らかい土性である。	167	1.00	50	90	50	90							
1.10	276.08	1.10	シルト混じり砂礫	シルト混じり砂礫	暗褐色					マトリクスに多量の黒ボクを含む砂礫で、土流堆積物に相当。礫分はφ15~40mmの角礫からなり、L=8cmのクサビ形状で採取されるものもある。マトリクスは粗砂分を含んだ黒ボクの再堆積物からなる。1mの貫入試験は礫打ちが明らか。	13	2.20	5	4	4	13	300			10/17			
2.50											28	3.40	14	9	5	28	300			10/18			
4.45											21	4.15	8	8	5	21	300			10/18			
5.15											107	5.15	6	44	40	50	140			10/18			
6.15										新生代第四紀	24	6.15	11	7	6	24	300			10/19			
7.15										土流堆積物に相当する、きわめて粗粒な堆積層である。玉石分はL=20cm以上で採取されることが多く、特に大径のものは連続長40~45cmに達す。礫種は流紋岩質岩（凝灰岩）からなり、粗粒なものが目立つ。全体に新砕かつ硬質なものが多い。その他の礫分もφ30mm程度以上が主体と粗粒である。マトリクスは細粒分を伴った粗砂~細礫からなり、ごく弱い固結度を認めることがある。2.05~2.8m間、4.0~5.3m間、10.8m以深は大径の玉石分に乏しい。ただし、コア試料の大部分は礫分から構成されている。貫入試験の含水は1mから高いが、掘削水が浸水した可能性が高い。	19	7.15	5	7	7	19	300			10/20			
8.45											20	8.45	8	5	7	20	300			10/20			
9.45											26	9.45	6	9	11	26	300			10/20			
10.45											47	10.45	23	15	9	47	300			10/23			
11.45											25	11.45	6	9	10	25	300			10/23			
12.45	264.78	12.40	強風化泥岩	強風化泥岩	黄褐色					褐色の風化色を伴う。シルト状コア。【DL級岩盤、粘性土に相当】	14	12.45	3	5	6	14	300			10/24			
13.25	263.93	13.25	風化泥岩	風化泥岩	褐色					風化色は取まるが、細かいひび割れに富んでいる。掘削で崩すことは困難。【DM級岩盤、固結粘性土に相当】	58	13.15	11	22	17	50	250	260		10/24			
13.75	263.43	13.75	強風化泥岩	強風化泥岩	褐色					ひび割れは取まり、10cm以下の短柱状コアを量す。カッターで薄く割れる程度の硬さである。【IH級岩盤、軟岩Iに相当】	26	14.15	7	8	11	26	300			10/25			
14.85	262.33	14.85	風化泥岩	風化泥岩	褐色					厚さ<10cmの砂岩薄層を挟在し、不均質である。細かいひび割れが開いている。砂岩は相対的に硬く、岩質はひび割れに依存しているようである。【DL級岩盤、硬結粘性土に相当】	214	15.00	50	70	50	70	70			10/25			
16.00	261.18	16.00	風化泥岩	風化泥岩	褐色					粗ひび割れは取まり、L=10~20cmの短柱状コアが主体をなす。岩片は少し軟質である。10~15°の堆積構造を認める。15.0~15.25m間、15.95m以深、砂岩~砂質岩の挟み。【NH級C級相当であるが、相対的に硬い砂岩挟みを打撃しているため、地層としての総合評価には注意を要す】	300	16.00	50	50	50	50	50			10/25			